証券コード：7681

株式会社 レオクラン

2026年9月期
決算補足説明資料

2026年11月13日

エグゼクティブサマリ

統合効果	2026/9期決算は売上高で対前年倍増。EBITDAは前年比3.6倍を達成。統合効果で事業規模は一つ上の水準へ
粗利率	2026/9期4Qは15.2%。四半期で上場来最高水準に。定着にはなお時間を要するも、収益力の底上げは着実に進展
3期連続	2027/9期は3期連続の経常増益を予想。粗利率低下や経費増を見込むも、増収効果やM&A費用減少などで吸収
手応え	2022年秋に公表した中長期成長シナリオの前倒しでの達成が視野に。事業環境の変化に対応した施策展開が奏功

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

1 2026年9月期決算実績

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

2026年9月期経営成績①

- **通期決算は売上が対前年2.2倍の469億円、EBITDAは対前年3.6倍の14億円。のれん償却などの影響を加味した営業利益も2.8倍に拡大。低侵襲医療機器販売などを手掛けるファスキアグループの参画が大きく影響**
- **直近想定に対しては若干の業績未達。これは一部案件で収益認識に想定と差異が発生したためであり、事業の実態に想定との差異はなし。5月修正見通しに対しては上振れで着地**

経営成績の推移

(百万円)	2024/9期 実績	2025/9期 実績	2026/9期				前期比較	
			修正見通し (26/5/15)	修正見通し (26/9/14)	実績	直近想定差異	差異	増減率
売上高	**19,804**	**21,489**	**44,500**	**48,000**	**46,910**	**▲1,089**	**+25,420**	**2.2倍**
メディカルトータルソリューション	18,610	20,257	20,645	-	21,283	-	+1,026	+5.1%
遠隔画像診断サービス	777	822	832	-	821	-	▲0	▲0.0%
低侵襲医療機器販売			20,580	-	22,279	-	+22,279	-
レンタル			630	-	638	-	+638	-
その他	415	409	1,811	-	1,886	-	+1,477	4.6倍
EBITDA*	**277**	**378**	**1,185**	**-**	**1,376**	**-**	**+998**	**3.6倍**
営業利益	**178**	**288**	**680**	**890**	**807**	**▲82**	**+519**	**2.8倍**
メディカルトータルソリューション	94	307	153	-	249	-	▲58	▲19.0%
遠隔画像診断サービス	66	69	73	-	66	-	▲3	▲4.5%
低侵襲医療機器販売**			380	-	381	-	+381	-
レンタル**			88	-	81	-	+81	-
その他**	14	8	42	-	93	-	+84	10.5倍
調整	2	▲97	▲56	-	▲63	-	+34	-
経常利益	**181**	**308**	**610**	**820**	**748**	**▲71**	**+440**	**2.4倍**
親会社株主に帰属する当期純利益	**136**	**152**	**230**	**400**	**346**	**▲53**	**+193**	**2.3倍**

*EBITDA＝営業利益+償却費と定義　**セグメント利益はのれん償却費・株式取得関連費用配分額を控除後ベース

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

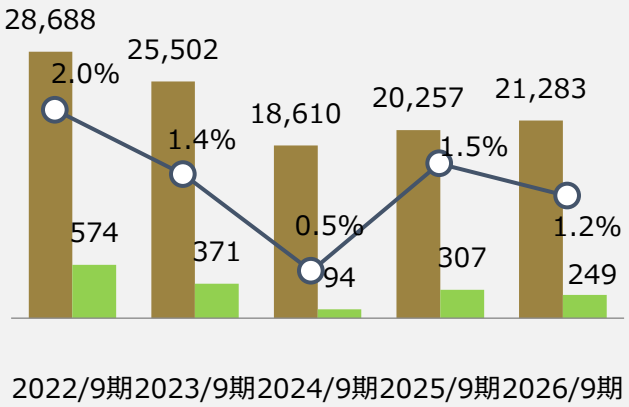
セグメント別業績推移

売上高（百万円）　営業利益（百万円）
EBITDA（百万円）　営業利益率/EBITDAマージン（%）

メディカルトータルソリューション事業

株式会社レオクラン　HRD Healthcare Research & Development 株式会社医療開発研究所　株式会社L&G システム

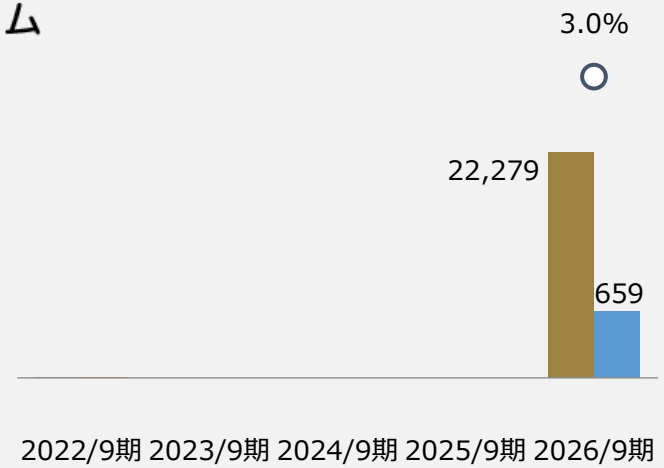
- 大型案件の端境期ながら、売上はその他機器・設備の伸長で増収確保
- 営業利益率は大型案件の貢献少なく低下
- 事業環境は引き続き厳しい状況。潜在的な病院の更新需要あるも、建築費高騰などが足枷



低侵襲医療機器販売事業

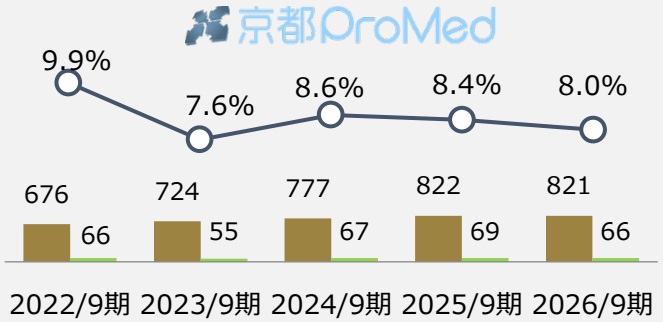
先端医療に貢献する医療専門商社 株式会社フォーム

- 堅調に推移。特に主力のCRM関連（心臓律動管理）が着実に伸長
- ただし、4Qはスポット案件一巡により、成長ピッチは若干ペースダウン



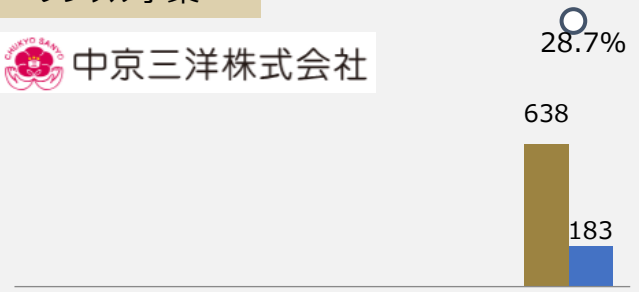
遠隔画像診断サービス事業

京都ProMed



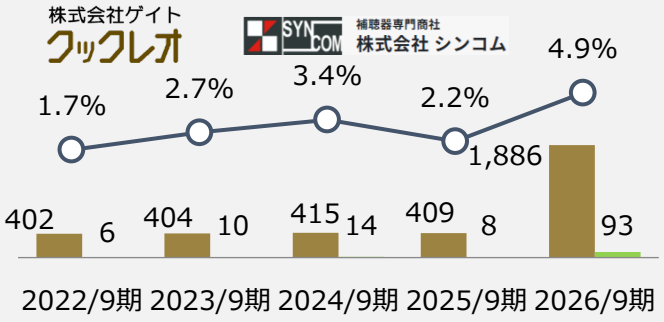
レンタル事業

中京三洋株式会社



その他

株式会社ゲイト クックレオ　補聴器専門商社 株式会社シンコム



©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

2026年9月期経営成績②

- **4Q発生ベースの業績は、同一基準で比較できる3Qに対して減収増益。これは主力事業であるメディカルトータルソリューション事業が貢献したため。大型案件の計上はなかったものの、その他医療機器/設備が伸長。医療情報システムも大幅増収**
- **一方、もう一つの主力事業である低侵襲医療機器販売は、スポット案件減少が影響し、減収減益。ただし、この影響はメディカルトータルソリューション事業で吸収し、全社では増益**

経営成績の推移

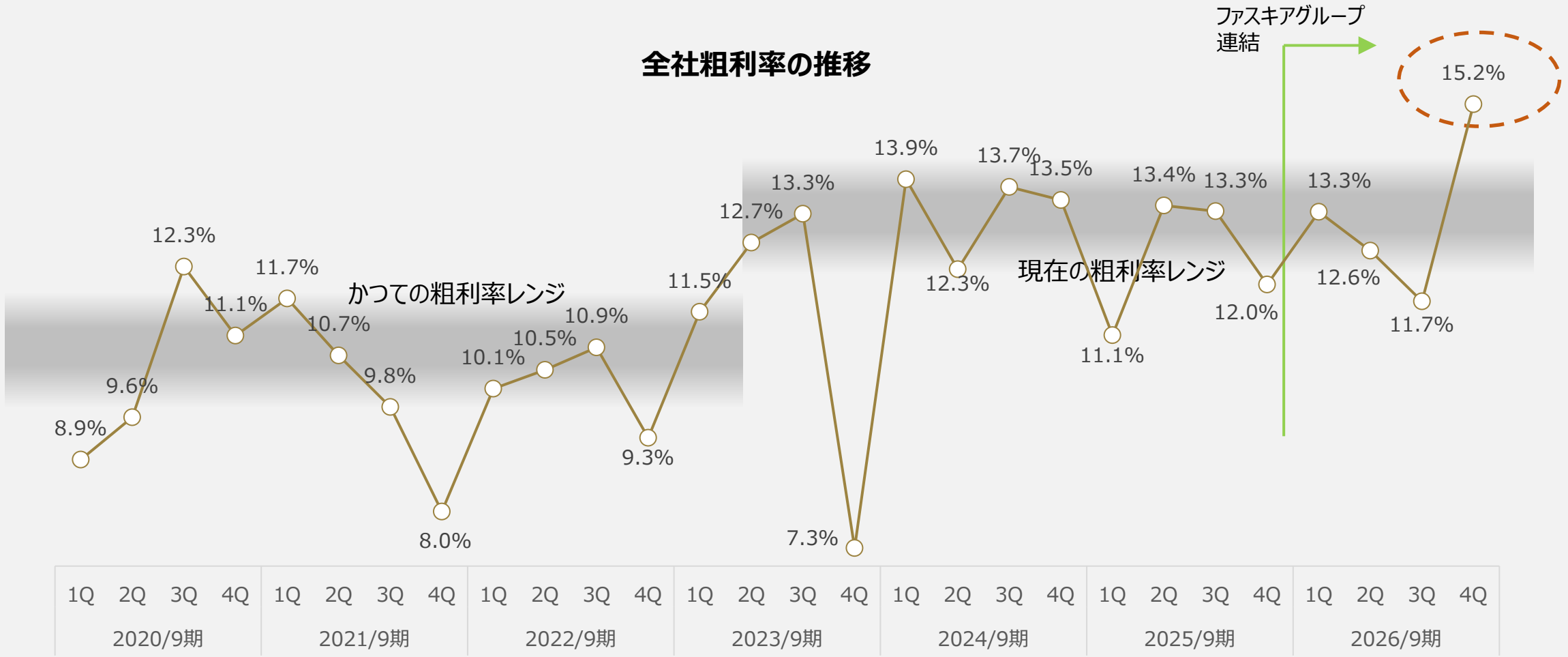
（百万円）	2024/9期				2025/9期				2026/9期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q*	2Q	3Q	4Q
売上高	**5,413**	**6,803**	**3,496**	**4,090**	**3,171**	**9,769**	**4,267**	**4,281**	**10,372**	**13,908**	**11,903**	**10,726**
メディカルトータルソリューション	5,124	6,509	3,189	3,787	2,871	9,466	3,954	3,965	4,806	7,668	3,640	5,167
遠隔画像診断サービス	186	185	200	205	206	203	204	208	209	203	204	205
低侵襲医療機器販売									4,728	5,461	7,436	4,653
レンタル									166	150	149	170
その他	102	108	106	97	93	99	109	107	461	424	472	528
EBITDA	**160**	**246**	**▲95**	**▲33**	**▲212**	**753**	**0**	**▲164**	**135**	**658**	**262**	**320**
営業利益	**136**	**221**	**▲120**	**▲59**	**▲235**	**732**	**▲22**	**▲186**	**7**	**519**	**117**	**163**
メディカルトータルソリューション	117	200	▲147	▲76	▲256	709	▲46	**▲98**	▲4	309	▲127	71
遠隔画像診断サービス	15	15	21	15	23	18	17	10	23	17	17	7
低侵襲医療機器販売									40	143	166	30
レンタル									8	28	24	18
その他	2	5	5	1	▲2	3	6	0	6	12	36	37
調整	0	0	0	0	0	0	0	▲99	▲67	8	▲0	▲2
粗利率	13.9%	12.3%	13.7%	13.5%	11.1%	13.4%	13.3%	12.0%	13.3%	12.6%	11.7%	15.2%

*2026/9期1Qは、企業結合について、取得原価の配分の見直しを行った影響を反映

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

粗利率の推移

■ 4Qの粗利率15.2%。3Q比では3.5pt上昇し、四半期ベースでは上場来最高水準を記録
■ メディカルトータルソリューション事業、低侵襲医療機器販売事業ともに、高い水準で着地



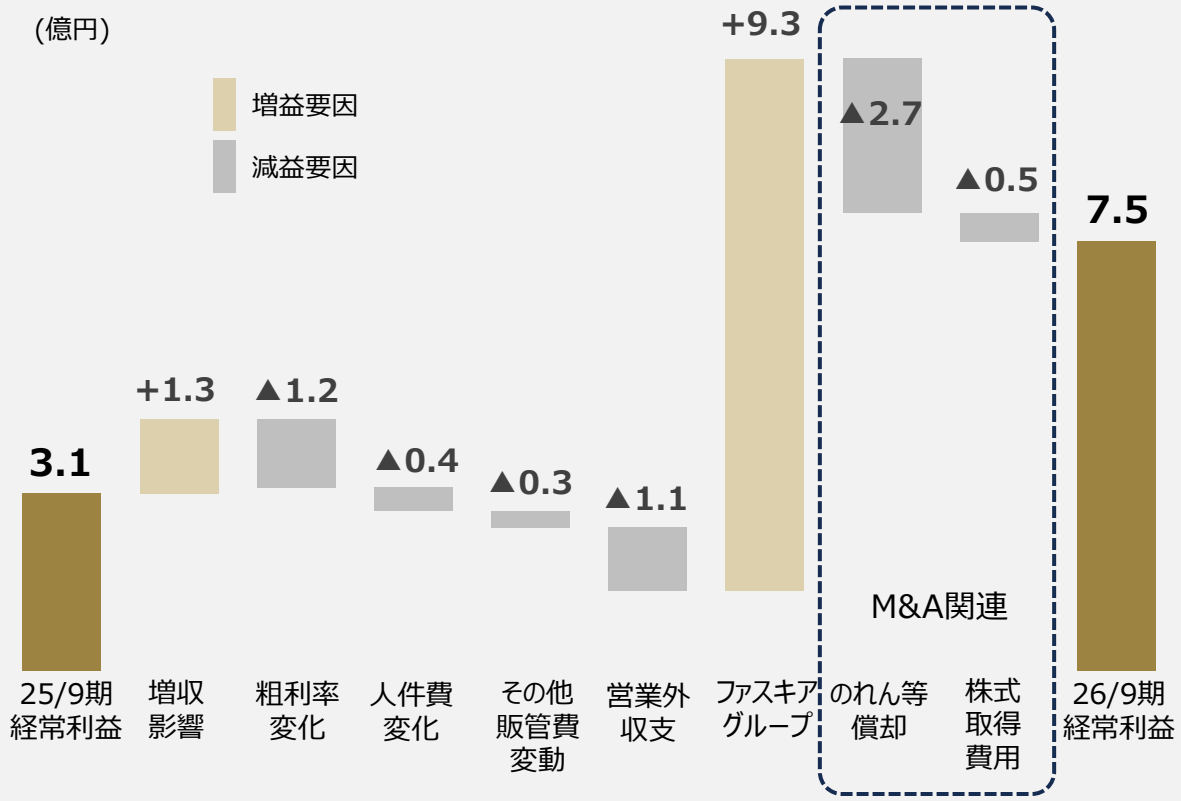
©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

株式会社 レオクラン

2026年9月期　経常利益増減益要因分析

- **通期経常利益は対前年比4.4億円の増加。内訳は、旧レオクラングループが1.6億円の減益、ファスキアグループ連結効果が6億円**
- **旧レオクラングループでは、メディカルトータルソリューション事業の大型案件減少により粗利率が0.6ポイント低下。人件費や営業外収支の悪化も加わり、増収効果では吸収できず**
- **ファスキアグループはのれん等償却や一時的なM&A関連費用を除き、9.3億円の増益寄与**

経常利益増減益分析



＜旧レオクラングループ＞

- 増収影響　+1.3億円
  - ・メディカルトータルソリューション事業売上はその他医療設備・医療機器や医療情報システムが伸長
- 粗利率変化　▲1.2億円
  - ・大規模案件減少により、粗利率は0.6pt低下（12.8%→12.2%）
- 人件費変化　▲0.4億円
- 営業外収支　▲1.1億円
  - ・借入増に伴う支払金利負担増

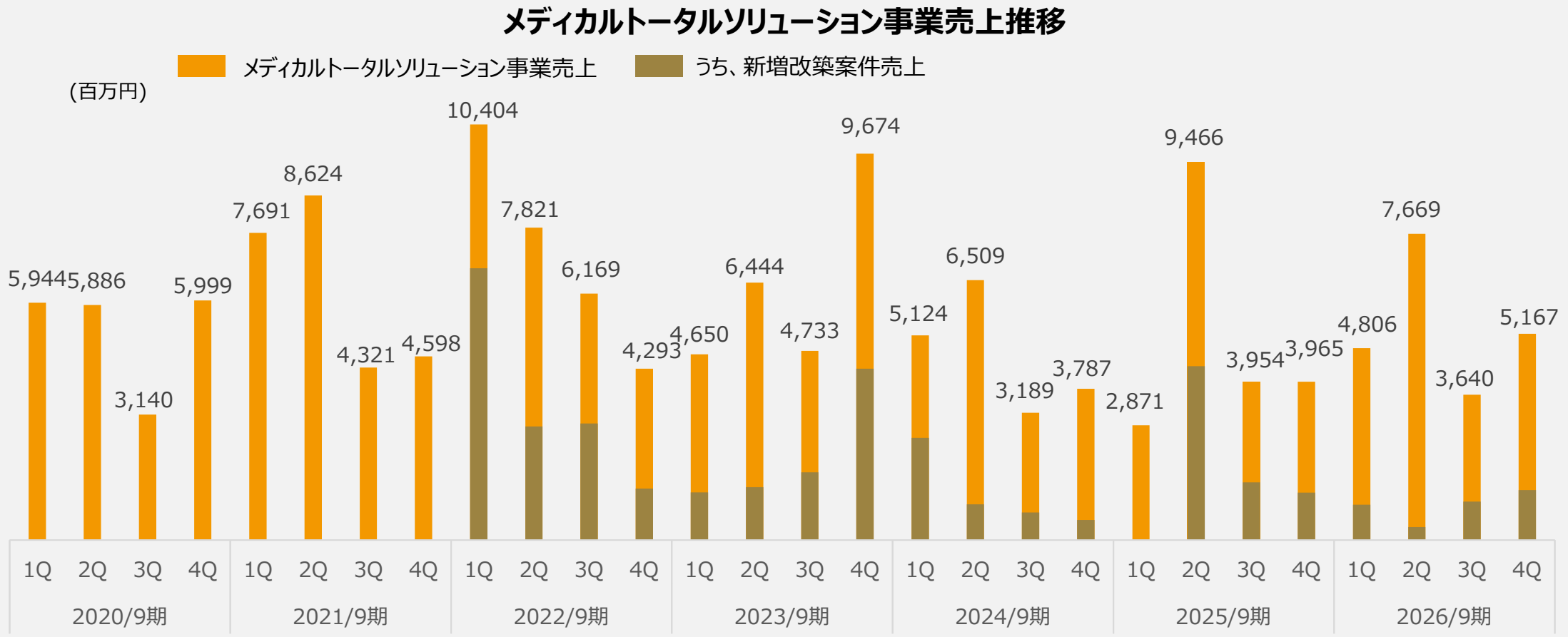
＜ファスキアグループ＞

- 経営統合　　+9.3億円
- M&A関連費用　　▲3.2億円
  - ・のれん等の償却　　▲2.7億円
  - ・株式取得関連費用の増加 ▲0.5億円

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

メディカルトータルソリューション事業売上推移

- メディカルトータルソリューション事業の4Q会計期間の売上高は52億円。大型の新増改築案件はなかったものの、その他医療設備・医療機器、医療情報システムが伸長
- 新増改築案件売上はまだ低水準。建築費高騰による病院の新増改築需要先送り傾向に変化なし



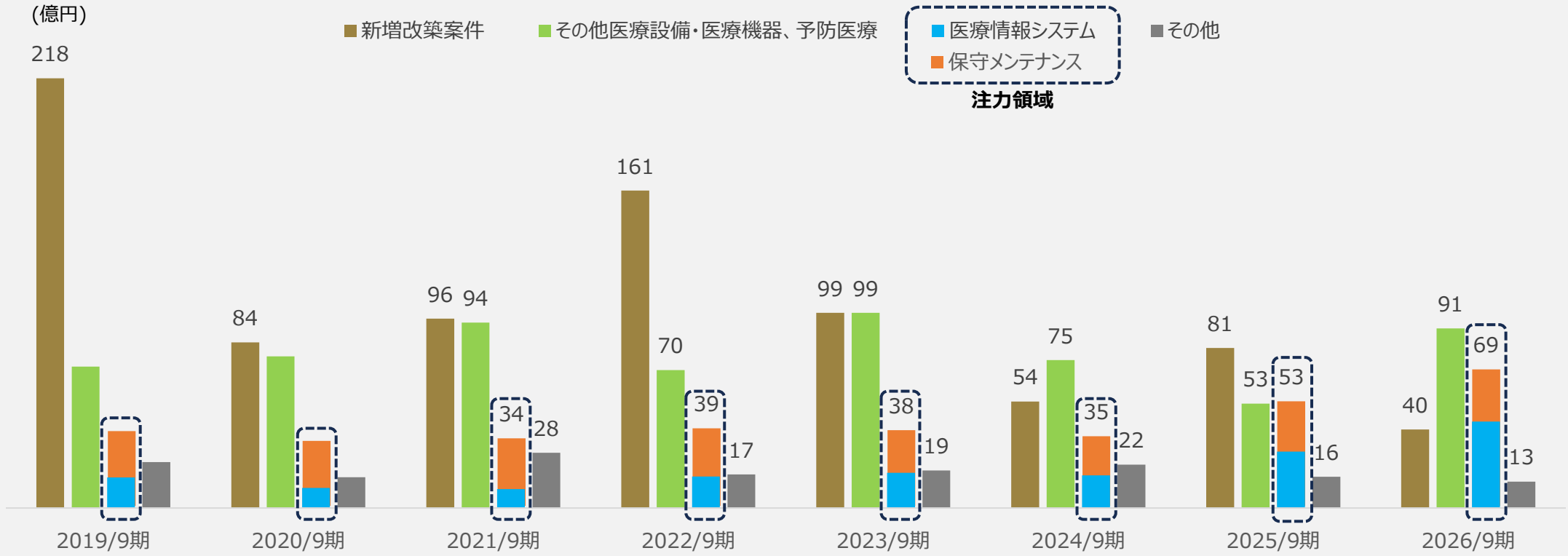
注）2021/9期以前の新増改築案件売上は非開示

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

メディカルトータルソリューション事業　売上内訳推移

- 2026/9期のメディカルトータルソリューション事業売上内訳は、その他医療設備・医療機器が最大比率に。建設費高騰から新増改築には至らないまでも、医療提供体制の維持・高度化に向け、機器・設備更新投資は高水準で推移
- 注力領域と位置付ける医療情報システム、保守・メンテナンスの売上も順調。特に医療情報システムは電子カルテ・部門システムなど更新ニーズの拡大に伴い、大幅に伸長

メディカルトータルソリューション事業売上内訳

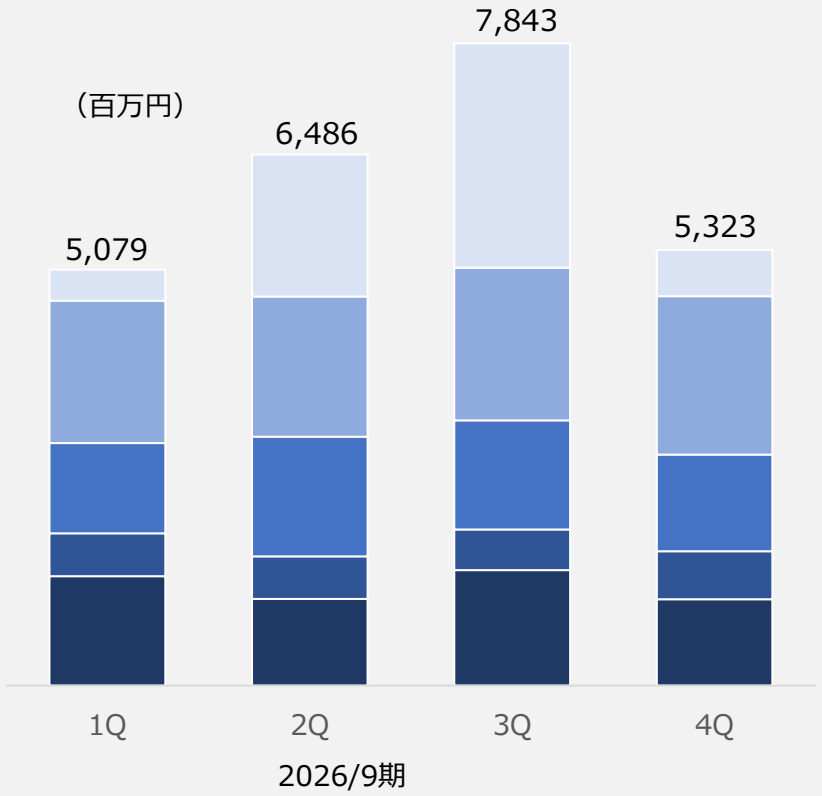


©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

低侵襲医療機器販売事業　売上内訳

低侵襲医療

身体への負担（切開、出血、発熱など）を最小限に抑える治療方法。患者の体力負担軽減が主たるメリット



その他

CRM
心臓律動管理

高度手術/透析用品/内視鏡

SHD
虚血性心疾患関連

VI
心臓血管外科

その他：
当期は大型医療機器のスポット案件を計上

CRM：Cardiac Rhythm Management
ペースメーカーなど不整脈や心不全などの心臓のリズム異常の治療・管理機器

高度手術/透析用品
内視鏡、サージカル、透析関連機器他

SHD：Structural Heart Disease
心臓弁膜症（大動脈弁狭窄症、僧房弁閉鎖不全症など）異常関連治療

VI：Vascular Intervention
カテーテル、画像診断、バルーン、ステントなどによる狭窄・閉塞血管の治療機器

*収益認識基準適用前のため、決算における売上高とは一致しない

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

2026年9月期　貸借対照表

- 総資産は前期末比2.1倍の229億円。期初に買収したファスキアグループ連結の影響が大
- 期末時点のネットキャッシュは前期末比30億円減の17億円。ファスキアホールディングスの株式取得に伴うキャッシュアウトが影響。ただし、その後もネットキャッシュ状態は継続。財務安定性を維持しつつ、借入活用によりWACCは低下
- 4Q末の自己資本比率は25.7%

財政状態の推移

（百万円）	2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期	**2026/9期**	前期末比差異
流動資産	**12,232**	**13,508**	**9,583**	**9,298**	**16,030**	**+6,732**
現預金	5,480	5,537	5,574	4,776	6,448	+1,672
売上債権	4,360	7,796	3,821	4,198	8,628	+4,430
棚卸資産	24	21	71	23	676	+652
その他	2,368	153	118	302	277	▲25
貸倒引当金	▲0	▲1	▲1	▲2	▲0	+2
固定資産	**1,235**	**1,185**	**1,076**	**1,571**	**6,892**	**+5,321**
総資産	**13,468**	**14,693**	**10,659**	**10,869**	**22,922**	**+12,053**
負債	**7,930**	**8,969**	**4,918**	**5,050**	**16,843**	**+11,793**
仕入債務	3,960	7,620	3,417	3,470	8,806	+5,335
有利子負債	92	2	9	7	4,676	+4,669
その他	3,876	1,347	1,490	1,572	3,360	+1,788
純資産	**5,537**	**5,724**	**5,741**	**5,819**	**6,079**	+259
負債純資産合計	**13,468**	**14,693**	**10,659**	**10,869**	**22,922**	**+12,053**

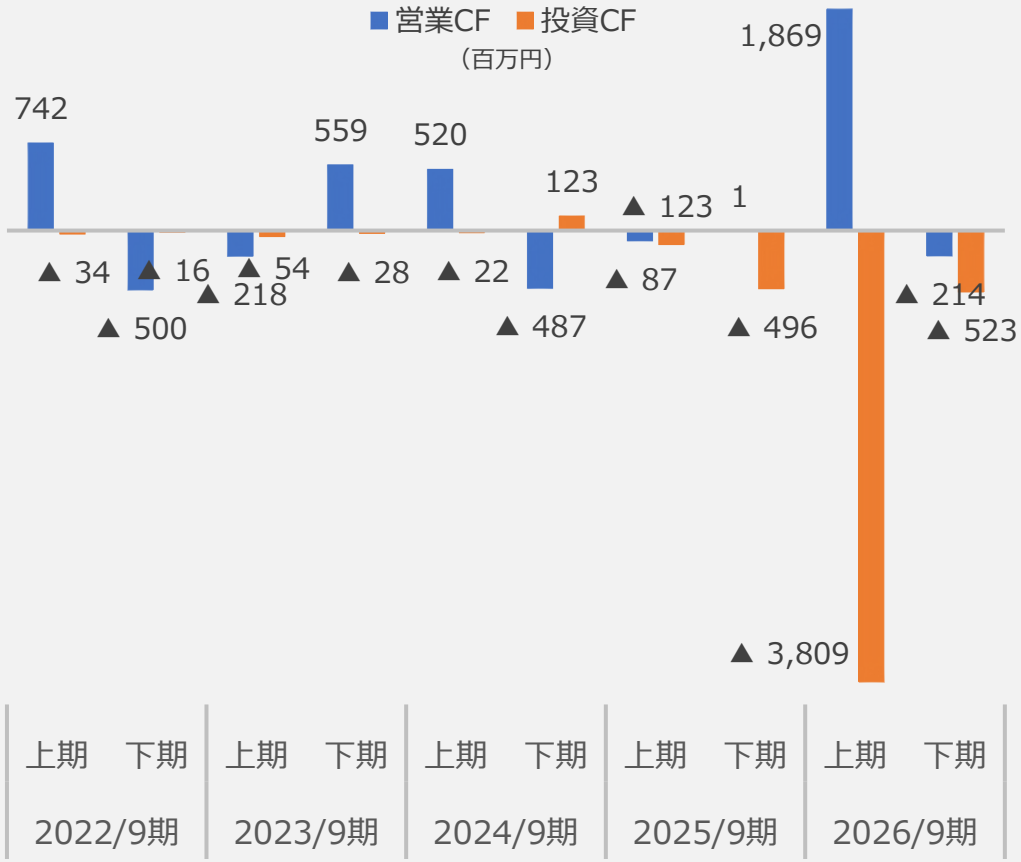
©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

2026年9月期　キャッシュフローの状況

- **2026/9期のFCFは27億円のマイナス。支払い超は2期連続。それに併せ、有利子負債が増加**
- **営業CFはファスキアグループ参画による事業規模拡大により増加。なお、運転資本増大により、下期の営業CFは一時的にマイナスに。投資CFはファスキアグループ株式取得による支払いが影響。株式取得関連支出減少により、下期の投資CFは支払規模が縮小**

キャッシュフローの推移

（百万円）	2024/9期	2025/9期	2026/9期
営業CF	33	▲86	1,655
税金等調整前当期純利益	273	308	748
運転資本増減	▲227	▲324	464
その他	▲13	▲71	441
投資CF	100	▲619	▲4,332
FCF	133	▲706	▲2,677
財務CF	▲97	▲100	4,349
有利子負債の純増減	▲1	▲2	4,407
株式の発行による収入	7	6	0
その他	▲102	▲104	▲58



＊ FCF=営業CF+投資CF　で算出

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

2 2027年9月期決算見通し

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

2027年9月期業績見通し

- **2027/9期は2%増収、14%経常増益を想定。注目するEBITDAも6%増となる見通し。各段階利益で3期連続の増益を見込む**
- **セグメント別には、メディカルトータルソリューション事業が大型新増改築案件を見込み、増収を牽引。その他事業は安定推移。損益的には増収効果や前期計上のM&A関連費用解消が寄与。粗利率低下や経費増の影響を吸収し、増益を予想**

経営成績の推移

（百万円）	2024/9期 実績	2025/9期 実績	2026/9期 実績	2027/9期 見通し	前期比較 増減差異	前期比較 増減率
売上高	**19,804**	**21,489**	**46,910**	**48,000**	**+1,089**	**+2.3%**
メディカルトータルソリューション	18,610	20,257	21,283	22,641	+1,357	+6.4%
遠隔画像診断サービス	777	822	821	827	+5	+0.6%
低侵襲医療機器販売			22,279	22,000	▲279	▲1.3%
レンタル			638	600	▲38	▲6.0%
その他（2025/9期以前は給食）	415	409	1,886	1,932	+45	+2.4%
EBITDA*	**277**	**378**	**1,376**	**1,464**	**+87**	**+6.4%**
営業利益	**178**	**288**	**807**	**900**	**+92**	**+11.4%**
メディカルトータルソリューション	94	307	249	240	▲9	▲3.7%
遠隔画像診断サービス	66	69	66	47	▲19	▲28.9%
低侵襲医療機器販売**			381	320	▲61	▲16.0%
レンタル**			81	89	+7	+9.5%
その他（2025/9期以前は給食）**	14	8	93	90	▲3	▲3.6%
調整	2	▲97	▲63	114	+177	黒字回復
経常利益	**181**	**308**	**748**	**850**	**+101**	**+13.5%**
親会社株主に帰属する当期純利益	**136**	**152**	**346**	**500**	**+153**	**+44.2%**

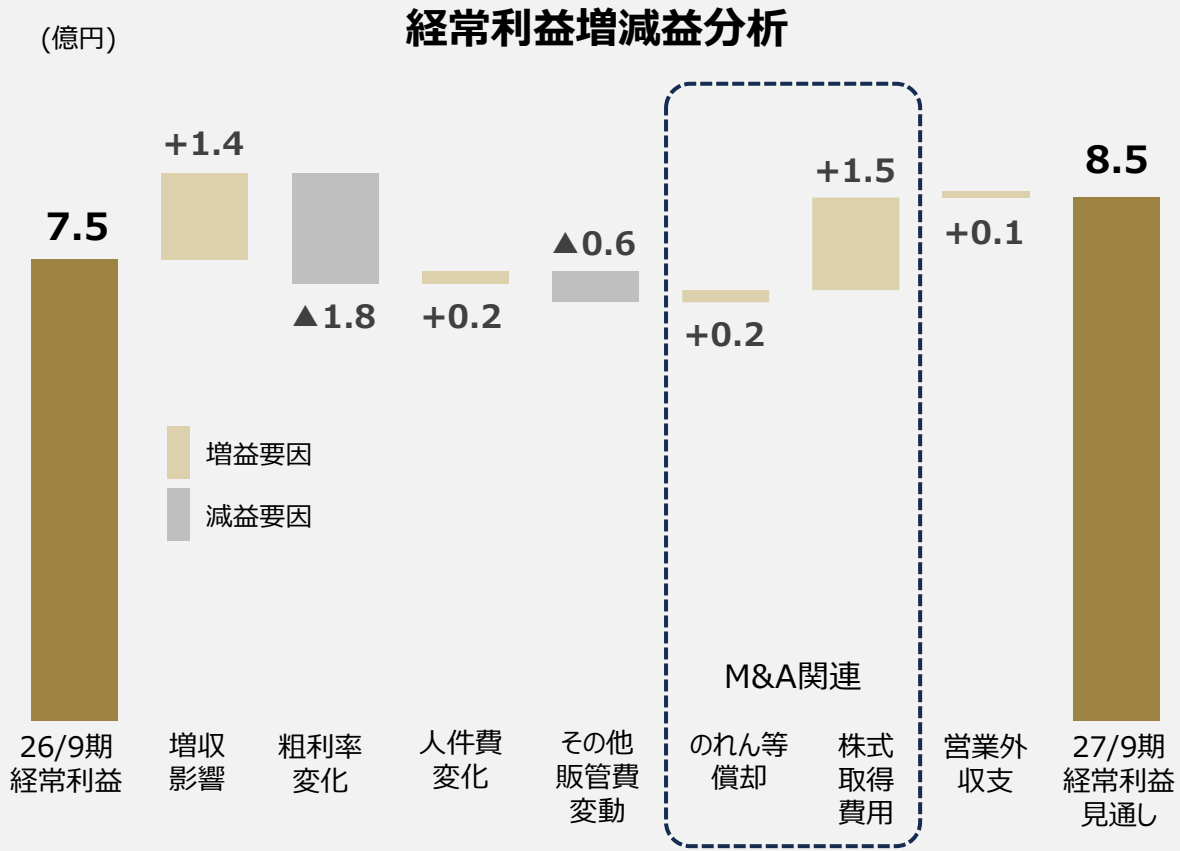
*EBITDA＝営業利益＋償却費と定義　**セグメント利益はのれん償却費・株式取得関連費用配分額を控除後ベース

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

2027年9月期　経常利益増減益要因分析

■ **通期で1.0億円の経常増益を想定。大型新増改築案件を見込むメディカルトータルソリューション事業の増収効果と、M&A関連では前期に取得したファスキアグループ株式の取得関連費用の消失が増益の主因に**

■ **一方、粗利率は保守的に想定。全社ベースで0.4pt低下との前提を置く。その他販管費などのコスト上昇も見込むも、上記プラス要因で吸収する見通し**

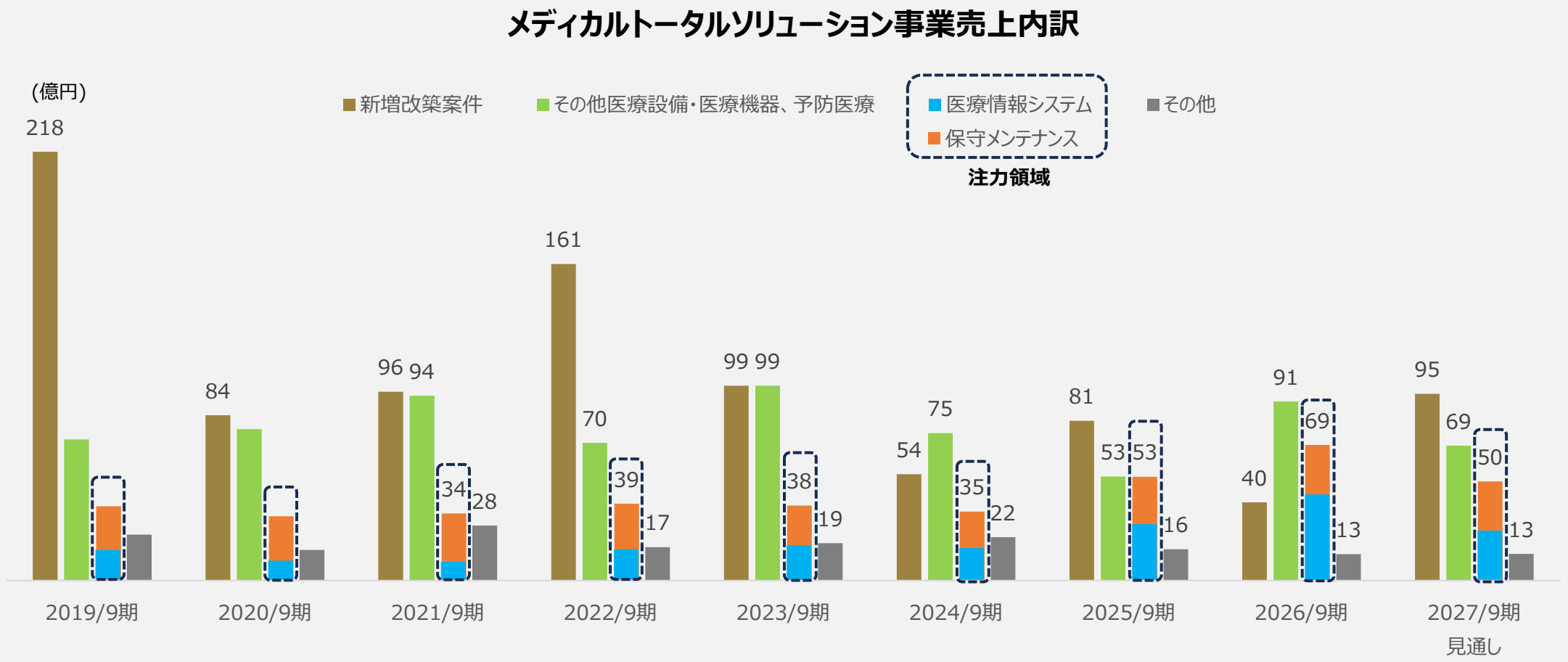


- 増収影響　+1.4億円
  - ・旧レオクラングループ　+1.8億円
  - ・旧ファスキアグループ　▲0.4億円
- 粗利率変化　▲1.8億円
  - ・全社粗利率は12.7%と0.4pt低下を想定
  - ・旧レオクラングループ　▲0.7pt
  - ・旧ファスキアグループ　▲0.1pt
- 人件費変化　+0.2億円
- M&A関連費用　　+1.7億円
  - ・のれん等の償却　　+0.2億円
  - ・株式取得関連費用の消失 +1.5億円
- 営業外収支　+0.1億円
  - ・借入返済に伴う支払金利負担減

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

メディカルトータルソリューション事業　売上内訳推移

- メディカルトータルソリューション事業では新増改築案件の売上回復を想定。同事業最大の売上寄与となる見通し
- 一方、医療設備・機器、予防医療、医療情報システム、保守・メンテナンスは減収を見込む。注力領域売上は4期ぶりの減収想定ながら、水準そのものは高水準を維持する見通し



©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

新増改築案件　予想前提

- **2027/9期の新増改築案件売上は年間で95億円を想定。前期比では2.4倍となる見通し**
- **20億円以上の大型案件の計上に加え、10億円未満の案件件数も大幅増を見込む。建築費高騰の影響は否めないものの、医療提供体制の維持・高度化に向けた需要は継続的に発生すると認識**

メディカルトータルソリューション事業における病院新増改築案件向け医療機器一括販売の推移

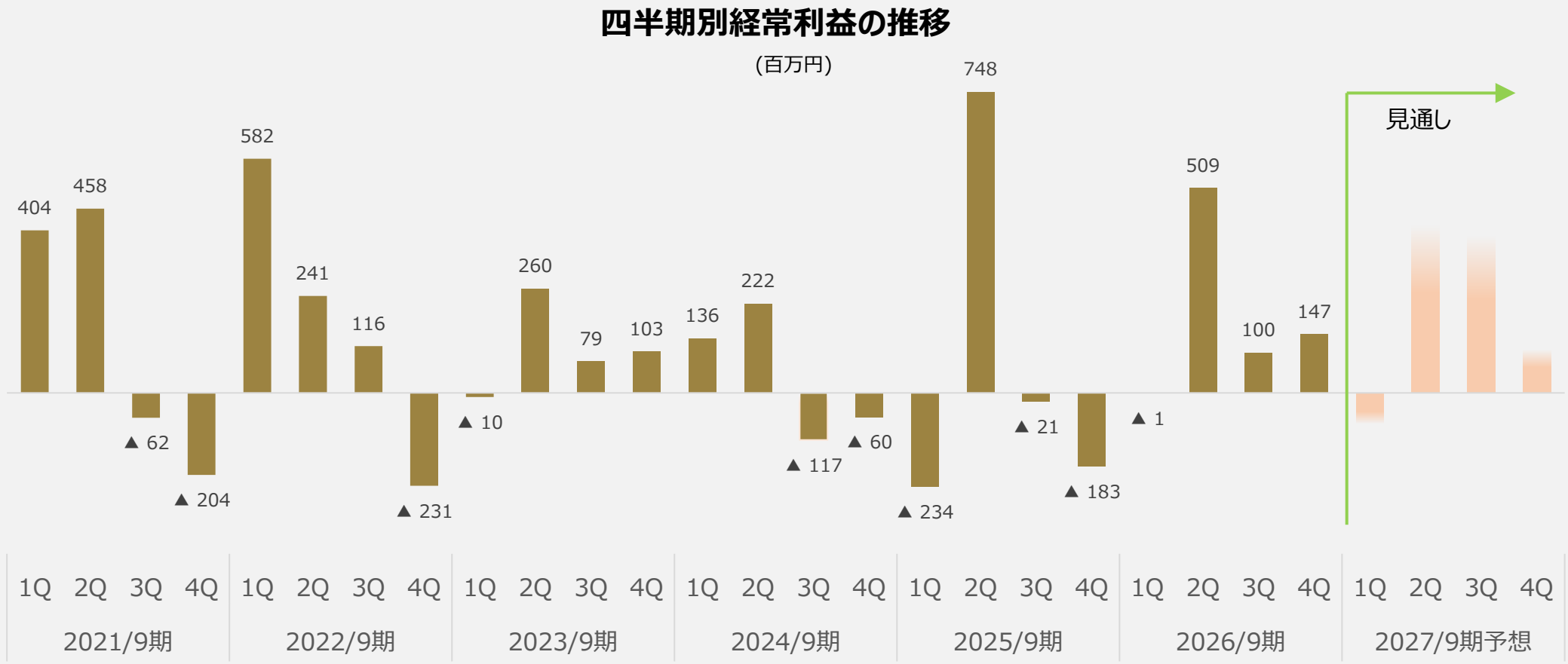
（百万円）		2023/9期	2024/9期	2025/9期	2026/9期	2027/9期 見通し	対前期比
20億円以上	売上高	2,296	2,942	3,768	-	3,639	+3,639
	件数	1	1	1	-	1	+1
	平均単価	2,296	2,942	3,768	-	3,639	+3,639
10億円以上	売上高	3,594	-	1,302	-	-	-
	件数	3	-	1	-	-	-
	平均単価	1,198	-	1,302	-	-	-
10億円未満	売上高	3,984	2,449	3,049	3,979	5,848	+1,869
	件数	13	10	10	12	17	+5
	平均単価	306	244	304	331	344	+12
合計	売上高	9,874	5,392	8,120	3,979	9,488	+5,508
	件数	17	11	12	12	18	+6
	平均単価	580	490	676	331	527	+195
事業売上に占める一括販売比率		38.7%	29.0%	40.1%	18.7%	41.8%	+23.1pt

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

2027年9月期四半期別経常利益想定

■ 2027/9期見通しの四半期イメージは、2Q･3Qに案件計上が集中すると想定。それに伴い、経常利益も2Q･3Qに集中となる見通し

■ 逆に、1Q･4Qの業績水準は比較的低めの計上を見込む

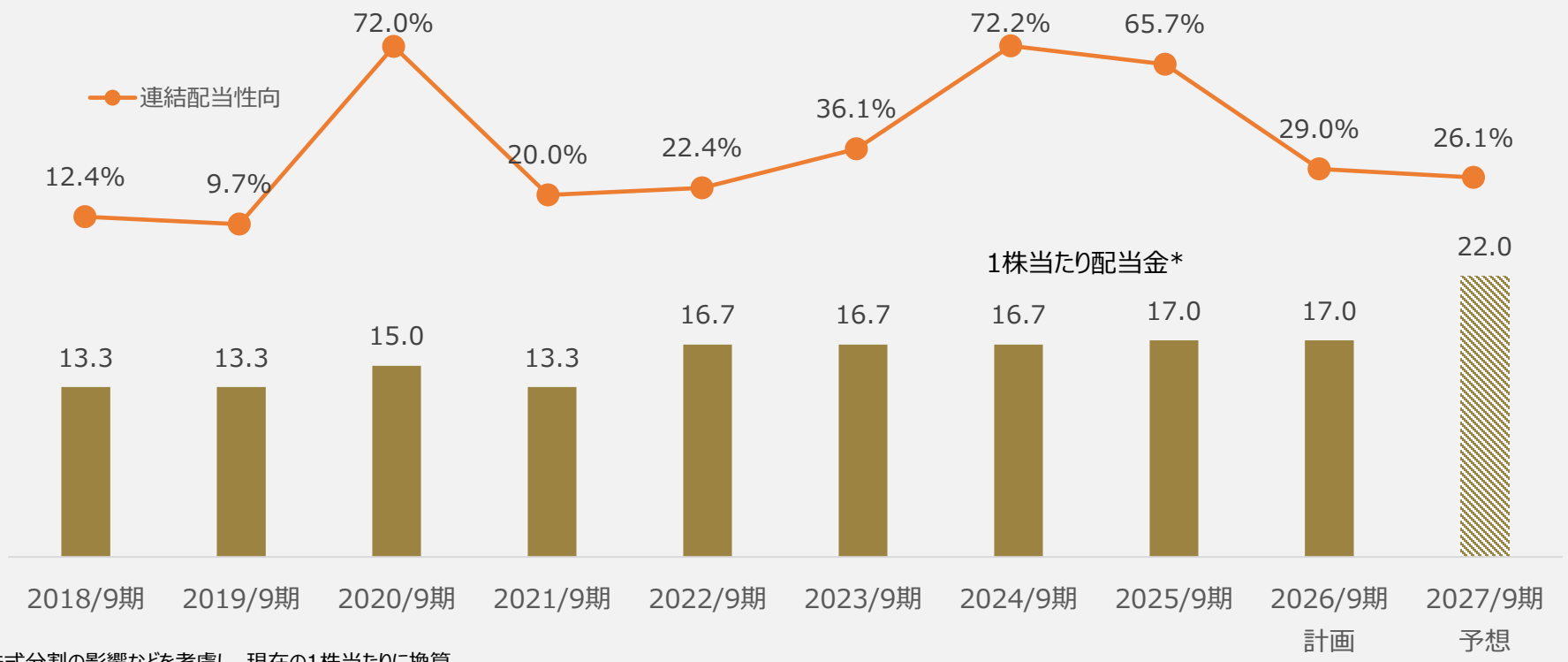


©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

株式会社 レオクラン

配当方針

- 2026/9期は1株当たり17円を計画。配当性向は29%
- 2027/9期を1株当たり22円と、5円増配を予想。想定配当性向は26%
- 配当性向の目安は、連結ベースで20～30%



*株式分割の影響などを考慮し、現在の1株当たりに換算

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

3 トピックス

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

トピックス1：指名報酬委員会を設置

2026年10月より　**指名報酬委員会を設置**

指名報酬委員会の形態

取締役会に提言を行う諮問機関として位置付ける「任意の指名報酬委員会」

委員会設置の目的

取締役等の指名及び報酬等に関する手続の公正性・透明性・客観性の強化
これらを通じたコーポレート・ガバナンスの充実

委員会構成

取締役会により選任された3名以上で構成
委員の過半数は独立社外取締役が占める
委員長は社外取締役である委員より、指名報酬委員会決議により選出

2026年11月現在の委員会メンバー



©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

トピックス2：さらなる提携・出資に向けて

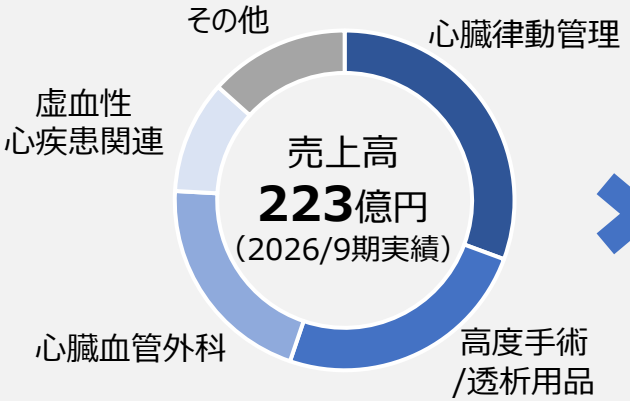
■ 大型投資実施後も、強固な財務基盤を活かしたさらなる成長投資を継続検討

株式会社 レオクラン

医療オペレーション・アプローチ

低侵襲医療機器販売事業

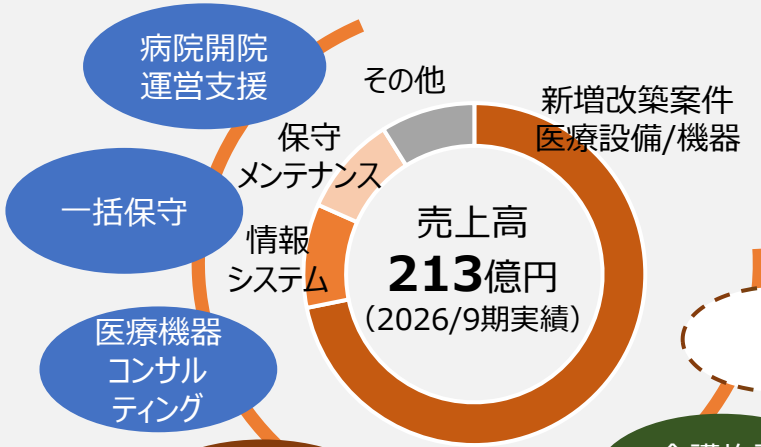
先端医療に貢献する医療専門商社
株式会社フォーム



Misono Medical 株式会社 ミソノメディカル

医療インフラ・アプローチ

メディカルトータルソリューション事業



株式会社アステッド
ASTEAD

TUHC

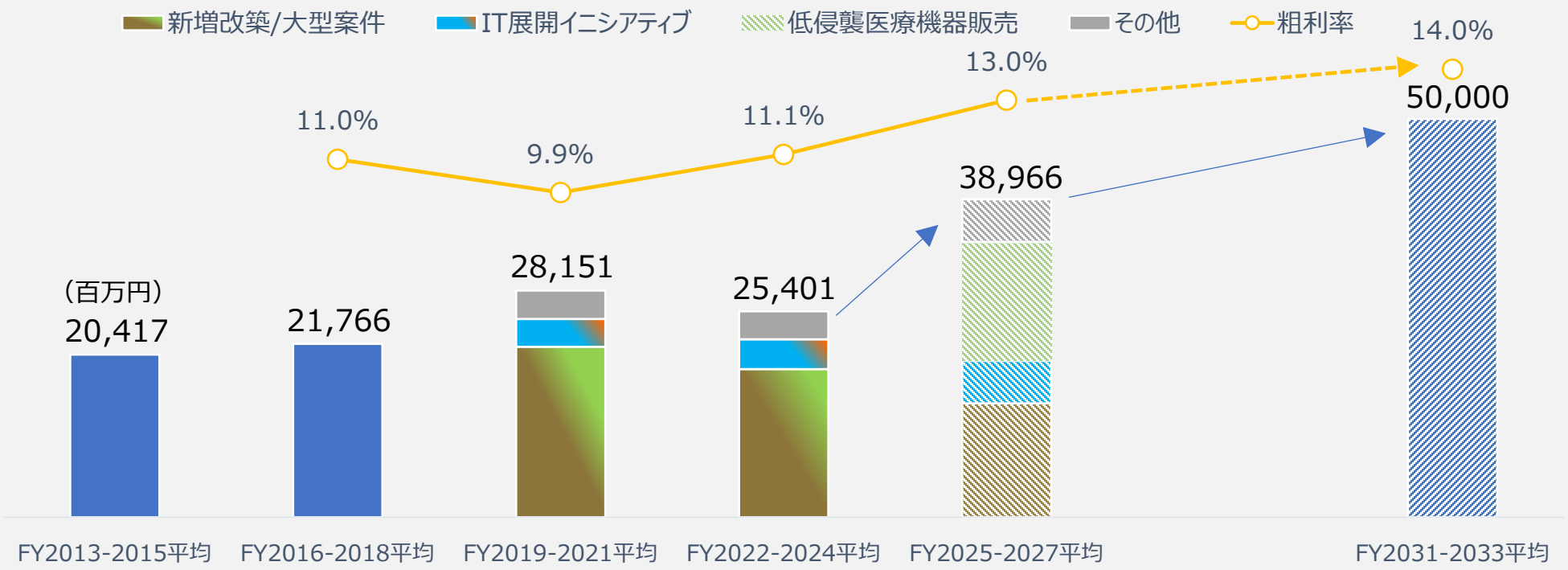
さらなる
提携・出資

さらなる
提携・出資による
新たなアプローチ

トピックス3：中長期成長方針の検証

- 2022年11月、当社は中長期成長シナリオとして、2031/9～2033/9期平均で売上高500億円、粗利率14%を成長目標として明示。メディカルトータルソリューション事業に加え、IT展開イニシアティブを新たな柱に据える方針を展開
- 2027/9期は売上高485億円を計画。粗利率も2026/9期4Qは15%に達し、上記中長期成長シナリオの前倒し達成も視野に
- 事業内容としては、IT展開イニシアティブの伸長あるも、それ以上に低侵襲医療機器販売を含む医療オペレーション・アプローチが貢献。事業環境の変化に応じた施策展開が奏功し、業績向上に寄与

中長期成長シナリオにおける売上および粗利率の推移

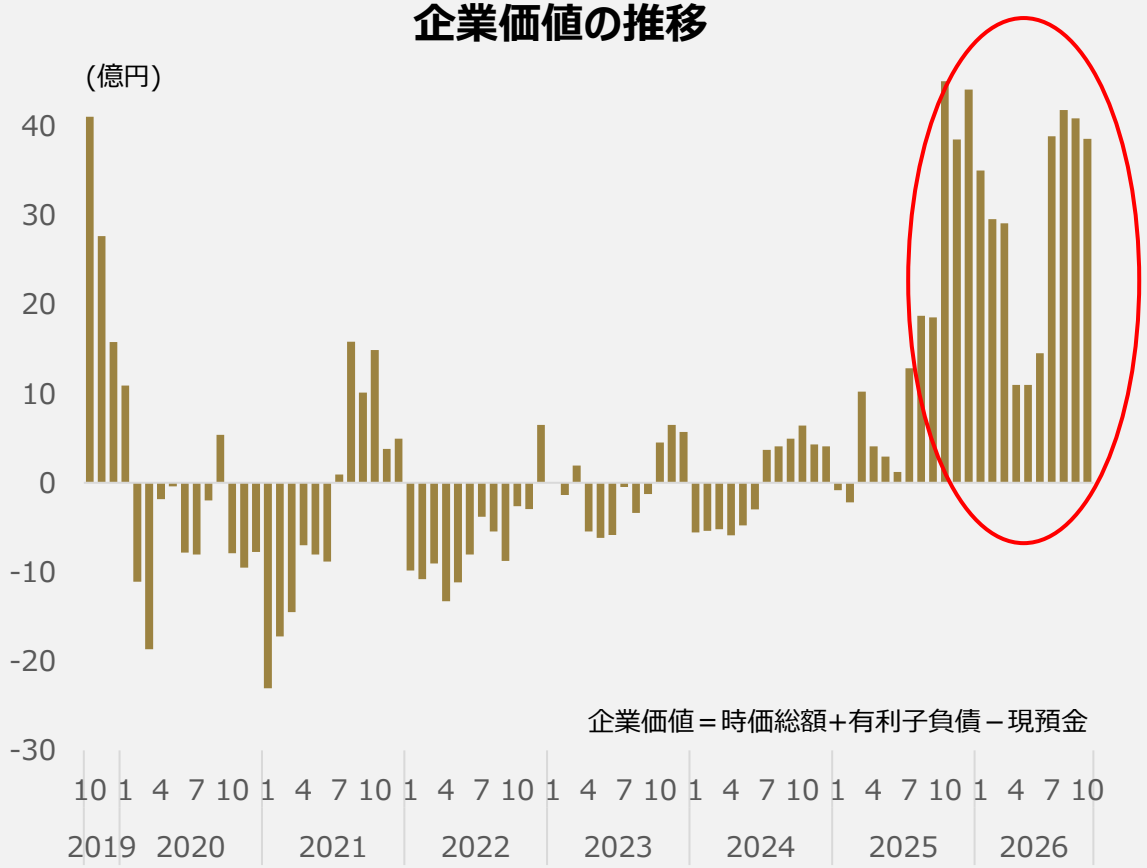


©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

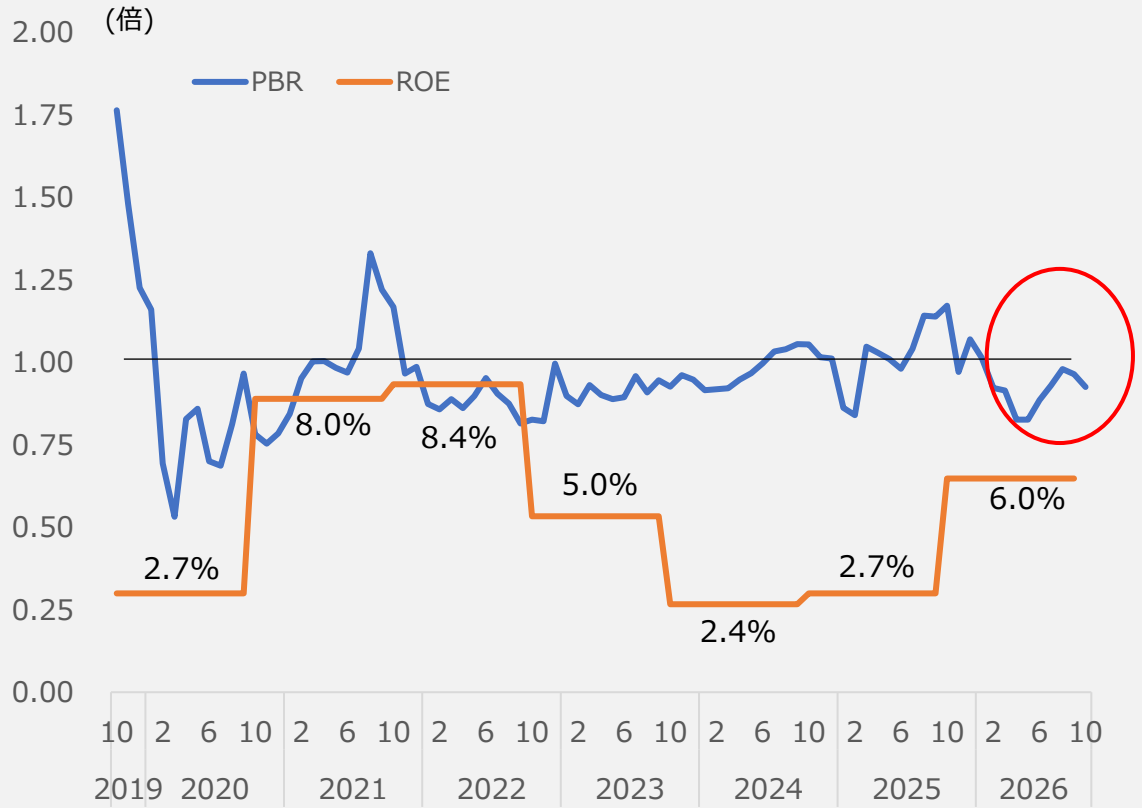
トピックス4：資本コストや株価を意識した経営（アップデート）

- 企業価値は2025/7以降、プラスを安定的に持続。PBRも概ね1倍水準で推移
- 2026/9期のROEは6.0%。株主資本コストにはまだ及ばないものの、ROE水準は上昇基調に転換

企業価値の推移



PBRとROEの推移



©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

業績・財務ハイライト

決算年月		2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
売上高	(千円)	21,996,890	26,347,156	29,767,431	26,632,145	19,804,248	21,489,527	46,910,407
経常利益	(千円)	207,244	595,939	709,660	431,662	181,146	308,842	748,946
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	120,839	390,983	437,051	271,306	136,057	152,777	346,691
包括利益	(千円)	141,111	427,266	462,709	294,367	112,733	176,233	371,834
資本金	(千円)	536,169	539,369	539,369	539,369	542,869	545,975	545,975
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800	1,967,800	5,922,000	5,922,000
純資産額	(千円)	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,724,103	5,741,300	5,819,360	6,079,171
総資産額	(千円)	13,414,303	12,964,840	13,468,183	14,693,938	10,659,647	10,869,403	22,922,741
1株当たり純資産額*	(円)	802.93	855.78	915.42	946.33	943.51	951.55	993.64
1株当たり配当額	(円)	45.0	40.0	50.0	50.0	50.0	17.0	17.0
1株当たり当期純利益*	(円)	20.84	66.64	74.30	46.12	23.09	25.86	58.60
潜在株式調整後1株当たり当期純利益*	(円)	20.62	66.11	73.84	45.84	22.96	25.76	–
自己資本比率	(%)	35.1	38.8	40.0	37.9	52.3	51.8	25.7
自己資本利益率	(%)	2.7	8.0	8.4	5.0	2.4	2.7	6.0
配当性向	(%)	72.0	20.0	22.4	36.1	72.2	65.7	29.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲1,906,273	1,298,076	242,357	341,555	33,083	▲86,650	1,655,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲63,598	▲42,129	▲49,958	▲82,011	100,752	▲619,823	▲4,332,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	238,372	▲298,007	▲120,931	▲202,311	▲97,225	▲100,727	4,349,106
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,517,421	5,554,031	4,746,830	6,418,923
従業員数	(人)	157	162	175	176	170	155	361
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(54)	(58)	(62)	(62)	(62)	(68)	(141)

*2024年10月1日付株式分割（1:3）の影響考慮後

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved

ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン
経営企画室　IR担当
TEL：06-4965-8634
Email：ir-support@leoclan.co.jp

©LEOCLAN Co., Ltd. all rights reserved